

令和 5 年第 7 回久米島町議会定例会一般質問

令和5年9月19日～9月21日

令和5年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問日程 |
|-----|------|----------------------------------|--------------|
| 1 | 幸地 猛 | 1.行政懇談会の開催について | 令和5年9月19日(火) |
| | | 2.仲里中部地区灌漑施設(スプリンクラー)の再整備について | |
| | | 3.地産地消の取り組みについて | |
| 2 | 盛本 實 | 1.中央通り・新興通り商店街活性化について | 令和5年9月19日(火) |
| | | 2.働き手不足の対応について | |
| | | 3.台風6号の被害状況及び復旧支援について | |
| | | 4.観光・ビジネス等入域客へ対する宿泊キャパシティの現状について | |

令和5年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問日程 |
|-----|--------|---------------------------------------|--------------|
| 3 | 東江 浩明 | 1. 台風災害による各生産施設等々被害状況及び今後の本町の支援体制について | 令和5年9月20日(水) |
| | | 2. 災害による被害の復旧作業、今後のライフライン対応対策について | |
| 4 | 真栄平 建正 | 1. 災害対策について | 令和5年9月20日(水) |
| | | 2. 産業振興について | |
| 5 | 赤嶺 秀徳 | 1. 災害対策について | 令和5年9月20日(水) |
| | | 2. バーデハウスについて | |
| | | 3. 歯科診療所について | |
| | | 4. 風の帰る森について | |
| 6 | 新垣 幸子 | 1. オスプレイ訓練と土地利用規制法について | 令和5年9月20日(水) |
| | | 2. 観光振興と民間による高速船導入について | |
| | | 3. 地域支援事業について | |
| | | 4. 畜産農家の現状について | |
| | | 5. 久米島校区の下水道事業の進捗状況について | |
| 7 | 喜久里 猛 | 1. 高速船について | 令和5年9月20日(水) |
| | | 2. 上水道、農業用水について | |
| | | 3. 大原前の護岸の砂について | |
| | | 4. 台風時の高波について | |
| | | 5. 今回の台風災害について | |

6. キバナノヒメユリについて

令和5年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問日程 |
|-----|-------|---|--------------|
| 8 | 宇江原総清 | 1.鳥島射爆撃場と政治について | 令和5年9月21日(木) |
| | | 2. バーデハウスについて | |
| | | 3. 銭田川と自然再生について | |
| | | 4. 真泊の避難道路と観光について | |
| 9 | 富永 肇 | 1. スポーツ振興について | 令和5年9月21日(木) |
| | | 2. 学校教育について | |
| | | 3. 学校の適正規模、適正配置について | |
| 10 | 棚原 哲也 | 1. 謝名堂マイ原地区の整備について | 令和5年9月21日(木) |
| | | 2. 道路標識の設置及び停止線の標示について | |
| | | 3. イーフビーチ南側の海岸に設置されている三階建ての構築物の取り扱いについて | |

令和5年9月 議会 一般質問

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|------|--------------------------------|--|--------|---|--------------------------------------|
| 13 | 幸地 猛 | 1. 行政懇談会の開催について | <p>町長は「町民視点での町政運営」により信頼される町政、開かれた町政を実現するということですが、他の町村では毎年度、町民の皆さんが日頃の町の取り組みなどについて、どのようなことを考えているかを知るため、聞くことを実践する場として、各地区を回って行政懇談会を実施している。</p> <p>町長は各字公民館周りをして行政懇談会を実施する考えはないか見解を伺います。</p> | 町長 | 行政懇談会については、令和元年以来新型コロナウイルス感染症の影響により中断しているのが現状であります。地域の声、町民の声を直接聞ける貴重な機会だと考えております。以前のような形で開催できるよう検討してまいります。 | 総務課 |
| | | 2. 仲里中部地区灌漑施設（スプリンクラー）の再整備について | <p>仲里中部地区土地改良区においてスプリンクラーの破損が多く発生しており、その修復作業が頻繁に行われているのが現状である。県に要請をしていると聞いておりますがその取り組み状況について伺います。</p> <p>(1) 事業実施主体は町か、土地改良区か。 (2) 概算事業費について。国、県の補助率及び受益者の負担割合は。 (3) 土地改良区内の荒蕪地解消が事業推進に影響が出てこないか。 (4) 地権者及び耕作者への説明会の日程はいつ頃か。</p> | 町長 | 仲里中部地区畑地かんがい施設については、令和3年度と令和4年度で補助事業採択に必要な現況調査を完了し、今年度から具体的な調整を予定しております。補助メニューをはじめ事業主体、事業費等については今後の検討課題となります。 | 建設課 |
| | | 3. 地産地消の取り組みについて | <p>地産地消の取り組みについて</p> <p>(1) 学校給食との関連について (2) 6次産業との関連について (3) 観光振興との関連について</p> <p>今後の取り組みについて</p> <p>全国では道路利用者の休憩施設として道の駅の整備がなされていて、農産物をはじめ地域の特産品の直売所として、地域振興につながる拠点としての一躍を担っている。</p> <p>島の産業の振興発展を図るには農産物等の産地直売所の施設が必要だと考えるが、見解を伺います。</p> | 町長・教育長 | <p>(1) 学校給食においては、もやし、とうふ、そば、もずく、アサ等の島内産食材を活用しています。</p> <p>(2) 6次産業についてですが町内に農産物の直売所1か所ございます。また、季節によってはAコープ前で直売所を設けております。農産物等の産地直売所の施設については、各農作物の生産量からすると年間を通しての安定確保は困難だと思われまます。</p> <p>(3) 観光振興との関連に関しましては、第2次久米島町観光振興基本計画において、久米島観光の魅力・価値を高めるブランドづくりを重点項目として明記されており、その具体的な取組として地産地消の推進、域内調達率の向上及びご当地グルメの開発などが掲げられており、令和4年度より久米島ならではの「食」をテーマとしたブランディング事業を実施しており、久米島産の食材にこだわった「久米島よくばりざんまい」のメニューを、島内飲食事業者と協同で開発致しました。現在、島内3店舗で提供しており、今後はプロモーション展開と並行して提供店舗数の拡充に向けて取り組むことにより、地産地消に繋げてまいります。</p> | (1) 給食センター (2) 産業振興課 (3) 商工観光課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|------|------------------------|---|-----|---|-------------|
| 2 | 盛本 實 | 1. 中央通り・新興通り商店街活性化について | 字仲泊～字大田に位置する、中央通り・新興通り商店街は、以前は町民生活や、外来者の利便性を支える中心的な商店街として大きな役割を果たしてきた経緯があります。しかしながら近年、空き店舗、空き地、廃墟物件等が目立ち、商店街としての体をなしていません。そのことにより町民及び外来者にながりの不便を与えているのが現状です。この商店街に対する町民ニーズの確保や観光振興の面から行政として両商店街の復興に向けて何らかの対策ができないか伺います。 | 町長 | 中央通り・新興通り商店街については、合併前より活性化に向けて様々な取り組みを実施し現在にいたっておりますが、その間世代交代やコロナ禍を経て、厳しい状況にあると認識しております。当該地域は現在でも地域の商店街として機能している面や来島者に対し飲食やお土産を提供している機能を有していることから、本町西部地区の重点地域として価値を高めるよう、関係者の意向を把握し対策を検討してまいります。 | 商工観光課 |
| | | 2. 働き手不足の対応について | 町内において働き手不足が、急速に顕著化してきている。このままの状況が続くと、町の経済悪化や人口動態に大きな影響が出てくると思われるが、その対策についてどの様に考えているのか伺います。 | 町長 | 年齢3区分別人口において、15歳から64歳までの人口を生産年齢人口と言いますが、平成26年に約4,900人であったのに対し、令和5年1月時点で約4,000人となっておりこの10年間で約900人の減少となっております。 働き手不足は全国的な課題であり、少子高齢化と人材のミスマッチが主な原因とされています。議員のご質問のとおり、本町においても、コロナ禍を経て働き手不足が顕著になってきていることを実感しており、このような状況が続きますと必要なサービスが提供できなくなり人口減少に拍車をかけるものと認識しております。 町内の各事業者等においては働き手不足解消に向け、職場環境の改善や経営の効率化等鋭意取り組んでいることと思われませんが、本課題は、各業界・分野において起こっていますので、情報収集を行いながら対応策を模索してまいります。 | 企画財政課、商工観光課 |
| | | 3. 台風6号の被害状況及び復旧支援について | 台風6号の襲来により本町も甚大な被害を受けたのは周知のとおりであります。全体的な被害及び産業別被害状況について伺います。また、復旧についてどの様な支援を考えているのか伺います。 | 町長 | 台風6号については、8月1日に暴風警報が発令され一旦解除されたものの、再び暴風警報が発令され8月5日の解除まで長期間にわたり雨・風の影響を受けたことにより、農作物の被害が大きく特にさとうきびの被害が甚大でありました。今後については、各業種別で対応できる支援策で対応したいと考えております。 | 総務課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-------|--|---|-----|---|-------|
| | | 4. 観光・ビジネス等入域客に対する宿泊キャパシティの現状について | 近日、観光、ビジネス等の入域客の伸びは目を見張るところがある。ところが受け入れの社会的基盤施設（インフラ）が不十分で、入域客にかなりの迷惑をかけているとのことですが、現状はどのような状況でしょうか。特に宿泊キャパシティがかなり低いと聞いていますが、今後どのような対策を考えているのか伺います。それから、来年4月から高速船の就航の予定もあることから、更に入域客の増加も想定されるので早めの対策が必要であると思われる。 | 町長 | 宿泊施設に関しましては、繁忙期や久米島マラソンなどのイベント開催時において突発的に客室が不足するという課題がありますが、一方で、閑散期においては比較的、余裕がある状況と認識しております。本町としましては、このような繁閑差の解消に向けて、閑散期における誘客促進を図ることにより宿泊事業者を始めとする観光事業者が一年を通じて安定して事業展開できるよう、取り組んでまいります。なお、高速船就航による宿泊キャパへの影響については、現時点で具体的なシミュレーションは行っておりませんが、高速船の就航が呼び水となり、民間事業者による宿泊施設の設置などの観光分野への民間投資が加速することを期待しております。 | 商工観光課 |
| 11 | 東江 浩明 | 1. 台風災害による各生産施設等々の被害状況及び今後の本町の支援体制について | (1) 車えび、海ぶどう、もずく、アーサ等養殖場施設の被害状況と今後の対策支援について伺う。 (2) 各作物ハウスの被害状況、対応対策等々について伺う。 (3) 牛舎及び生産牛の被害状況と今後の対策について伺う。 | 町長 | (1)水産関係施設の被害として、民間車えび養殖場については堤防の倒壊、海ぶどう養殖施設については軽微な破損、養殖もずく関連の施設については特に被害はありません。車えび事業者より対策支援について相談があった場合は、沖縄総合事務局及び沖縄県の農林水産部長が被災箇所の視察を行っておりますので、各関係機関とその対応を検討してまいります。 (2)各作物ハウスの被害状況ですが、生産者からの被害申請は平張ハウスのモンステラ栽培と野菜ハウスの2件です。対応対策として、罹災証明書の発行、園芸施設共済保険の加入補助を行っております。 (3)牛舎の被害状況は台風後の被害調査で17件、子牛が6頭死亡しております。支援体制としましては、共済組合保険加入の補助を行っております。 | 産業振興課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|--------|-----------------------------------|--|-----|---|------------------------------|
| | | 2. 災害による被害の復旧作業、今後のライフライン対応対策について | (1) 各字の停電と断水状況と今後の復旧対応について伺う。 (2) 災害前後の本町における食料品・雑貨品等々、今後への対応対策について伺う。 | 町長 | (1) 停電状況については、台風の勢力が大きく暴風警報発令時間も長時間であったことから島内各所で停電が発生しました。沖縄電力のホームページの情報ですが、停電した戸数が最大で2,200世帯余りあり大きな影響を受けております。 また、嘉手苅地区が8月2日午後頃からタンクのない世帯の断水がしていましたが、4日の午前中でほぼ解消され、他の地区においても翌5日の正午頃には解消されました。今回の断水は、多量の原水の濁り水で具志川浄水場の緩速ろ過池の目詰まりによることが主な原因であり、目詰まり解消に向けて施設の機能強化として緩速ろ過から急速ろ過への検討も必要だと考えてます。 (2) 今回の台風6号については、長時間にわたり暴風雨の影響を受けたことにより、物流がストップしたことで食料品を中心に島内の店舗では品切れが続出しました。今後の対応として、保存できる商品については、台風の進路や勢力等を考慮し、事業者ごとに対策できるよう要請していきたいと考えております。 | (1)総務課、上下水道課 (2)総務課 |
| 10 | 真栄平 建正 | 1. 災害対策について | 台風6号の長期間にわたる影響は多大な被害をもたらした。台風情報伝達、インフラの復旧等が適切になされたか検証する必要がある。そこで次の事項について伺う (1) 台風情報伝達はどのように行い、その評価、課題、今後の対策は (2) インフラの復旧経緯はどのように行い、その評価、課題、今後の対策は (3) 被災状況と今後の対策は | 町長 | (1) 台風襲来時の情報提供については、防災無線をはじめ町ホームページ、町公式LINE及びFMくめじまからも提供しております。今後の課題、対策として、停電が長時間続く場合、町民の情報収集手段が限られてきますので、情報提供の回数を増やす等の対策を講じていきたいと考えております。 (2) 今回の断水は、多量の原水の濁り水で具志川浄水場の緩速ろ過池の目詰まりにより、ろ過機能が間に合わなかったことが原因であります。復旧については、通常一週間ごとに砂の入れ替えをしていますが今回は8月1日、3日、6日に砂の入れ替えを行い断水対策をしました。課題としましては、施設の機能強化として緩速ろ過から急速ろ過への検討も必要だと考えています。 (3) 今回の台風6号については、長時間にわたり暴風雨の影響を受けたことにより、農作物の被害が大きく特にさとうきびの被害が甚大でありました。今後については、各業種別で対応できる支援策で対応したいと考えております。 | (1)総務課 (2)上下水道課 (3)総務課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-------|-------------|---|-----|---|--------------------------------------|
| | | 2. 産業振興について | <p>全国的な人口減少のなか、減少率を抑えるとともに町民の所得向上をいかに図るかが行政の最大の課題であると考えます。交流人口の質と量の増、その環境整備が必要。そこで次の事項について伺う。</p> <p>(1) 久米島町観光振興計画と島内インフラの整備、改修の工法等の基本的な考えは</p> <p>(2) 久米商船(株)への委託事業の経営計画と「久米島オーシャンジェット」経営計画の違いとその評価は。今後の高速船導入の取り組みは。</p> <p>(3) 移住推進とリモートワーク環境の整備は。</p> | 町長 | <p>(1) 久米島町観光振興基本計画では、観光全般の受入基盤・体制の強化及び質の向上を基本方針としております。島内の観光インフラに関する具体的な取り組みとして、島内2次交通の強化と観光案内サインの計画的な再構築や内容の改善をあげており、引き続き、案内標識の改善や観光地におけるトイレの改善などを取り組んでまいります。</p> <p>(2) 令和3年度に久米商船株式会社が行った高速船を導入した場合の経営診断・航路診断の収支シミュレーションにおいては、用船費用や船舶の年間維持管理費等に大きなコストがかかるため、採算性は見込めない結果となっております。久米島オーシャンジェット株式会社の経営計画については、民間の計画なので資料の提供はできないとのことでした。今後の高速船導入の取組については、民間事業者が設立されておりますのでその動向について注視してまいります。</p> <p>(3) 現在本町でリモートワークのできる環境が整っている施設が2箇所あります。そのうちコワーキングスペース仲原家では県外からワーケーションとして利用する方が以前より増えている状況にあり、引き続き活用を促進してまいります。</p> | (1)商工観光課 (2)プロジェクト推進課 (3)企画財政課 |
| 4 | 赤嶺 秀徳 | 1. 災害対策について | <p>今後も発生が予想される各種災害、中でも今回の台風6号以上の台風が発生する可能性がある。その際に本町がとる対策について3点伺う</p> <p>(1) 本町が取るべき総合的対策について伺う</p> <p>(2) これまでの対策で充分か伺う</p> <p>(3) 今後の対策について伺う</p> | 町長 | <p>(1) 総合的対策については久米島町地域防災計画に基づいて実施しており、関係機関と連携しながら防災及び減災対策に努めております。</p> <p>(2) これまで台風等による高潮、洪水、土砂災害等は法律等に基づいて危険区域を想定した対策を行っていますが、質問要旨のとおり気候変動等による台風の強大化など、これまで以上に自然災害リスクは高まっているため、科学的知見からあらゆる可能性を考慮、最大クラスの風水害を想定しての対策が必要と考えております。</p> <p>(3) 今後の対策としては、高潮、洪水、土砂災害対策以外に地域特有の砂浜からの砂塵や軽石再漂着の個別対策等が必要となっております。また、これまで以上の暴風警報発令の長期化に備えた生活必需物資の備蓄、インフラの強靱化、復旧の迅速化など国や県など関係機関への要請と併せて対策を講じてまいります。</p> | 総務課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-----|---------------|---|-----|--|-----------|
| | | 2. バーデハウスについて | バーデハウスが閉館して約3年にもなるが、その後の進捗状況について3点伺う (1) 公募の状況について伺う (2) 何社が公募に応じたか伺う (3) 今後の対策について伺う | 町長 | 令和4年4月に民間提案を募りましたが、民間企業からの応募はありませんでした。公募後のヒアリングで得た公募に至らなかった要因などを踏まえ、現在、再公募に向けた条件整理等を行っている状況です。バーデハウス周辺のみならずハテの浜を含む東部エリアの価値をより高めていく施策を計画、展開しながら、引き続き民間による再生に向けて、取り組んでまいります。 | 商工観光課 |
| | | 3. 歯科診療所について | 仲里歯科診療所が閉院してから3年以上になると思う。未だ開院の兆しも見えない進捗状況について3点伺う。 (1) 開院に向けた取り組みは行われているか伺う (2) 開院する予定として建物の着工時期について伺う (3) 開院する予定であればその時期を伺う | 町長 | 令和5年度において基本設計及び実施設計完了予定となります。歯科診療所の着工時期は令和6年度、開院は令和7年度を予定しております。 | 福祉課 |
| | | 4. 風の帰る森について | 現在の状況について2点伺う (1) 稼働状況について伺う (2) 今後の対策について伺う | 町長 | (1) 昨年度2回指定管理者の公募を行い、1回目に1社の応募がありましたが、事業提案内容やプレゼンの審査結果から基準点に達しなかったため、不選定となりました。2回目の公募では応募がなく、指定管理者が決定しなかったことから一時閉館となっており、4月からは稼働しておりません。 (2) 現在、アウトドア宿泊施設の運営を行っている事業者に対し、個別に意見交換を行っております。引き続き、事業者との対話を重ね早期再開に向けて取り組んでまいります。 | プロジェクト推進課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-------|------------------------|--|-----|---|-------|
| 7 | 新垣 幸子 | 1. オスプレイ訓練と土地利用規制法について | <p>7月15日に初めてオスプレイが2～3機、飛来し航空自衛隊久米島分屯基地において、在沖米海兵隊による訓練が実施されました。オスプレイの事故が、過去にも何回かあったが原因究明がなされないまま訓練している状況にあります。</p> <p>また、令和3年6月16日に成立した土地利用規制法により当町において、特別注視区域は久米島分屯基地を中心とした周囲おおむね1000mの区域、注視区域は久米島空港、アーラ岳南部の周囲の区域の2か所が指定されています。ここで、4点伺う。</p> <p>(1) 訓練の際、住宅地上空を飛行している事実もあったがどのように考えていますか。</p> <p>(2) 今後も同じような訓練が実施された場合、どのように対応するか伺う。</p> <p>(3) 土地利用規制法は、外国資本による土地購入に対する懸念を背景に制定されたが、実際は戦争回避を訴える運動を阻害することが大きな目的である。町民への影響について、他にどのようなことが考えられるか伺う。</p> <p>(4) アーラ岳南部の周囲の区域は、具体的にどの範囲ですか。また何故、その場所が注視区域に指定されたのか伺う。</p> | 町長 | <p>(1) オスプレイの飛行については、住宅地上空の飛行を避けるよう配慮を求めています。</p> <p>(2) 米軍機等の飛来があれば住宅地上空の飛行は避けるとともに、町民生活など地域に与える影響を最小限にとどめるよう申し入れを行ってまいります。</p> <p>(3) 特別注視区域および注視区域に指定されている土地については、町民が行う手続きとして、土地等の所有権移転等に対して事前届出が必要となっています。</p> <p>(4) アーラ岳周辺については、注視区域に指定されておりますが、指定の事由について領海基線周辺となっており、その領海基線の詳しい位置は公表されていませんが、アーラ岳周辺の海域にあり、そこから1kmの範囲に陸地部分を含め範囲として指定されています。</p> | 総務課 |
| | | 2. 観光振興と民間による高速船導入について | <p>来年4月から民間による高速船の就航が予定されていることや、町が「観光立町」を明確に目指していることから早急な対応が必要ですが5点伺う。</p> <p>(1) 観光地の整備について、これまでいくつか提案があったが具体的に何を実施するのか伺う。</p> <p>(2) インバウンドの対応</p> <p>(3) ホテルや民宿の従業員不足の対応</p> <p>(4) 定期観光バスの確保</p> <p>(5) 第3次久米島町観光振興基本計画の進捗状況</p> | 町長 | <p>(1) 観光地の整備に関しましては、令和3年10月に久米島商工会と久米島町観光協会の連名でご提案を受けているところです。現時点で具体的な計画はございませんが状況をみながら対応策を検討してまいります。</p> <p>(2) インバウンド対応としましては、平成31年～令和5年3月まで地域おこし協力隊制度を活用し、インバウンドの受入体制の構築を目的に、職員を1名配置し、島内におけるインバウンドの実態調査、観光案内版や公共施設での表示等の多言語化、民間事業者向けの英会話講座、インバウンド向けのパンフレット作成などを行いました。今後も引き続きインバウンド動向を注視しつつ、必要な取り組みを行ってまいります。</p> | 商工観光課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-----|---------------|--|-----|--|-----|
| | | | | | <p>(3) ホテルや民宿に限らず様々な業種において従業員不足が課題であると認識しています。沖縄県による観光事業者を対象とする人手不足対策に関する事業や町内ホテル、民宿などの状況について情報を得ながら対応策を模索してまいります。</p> <p>(4) 本町の観光振興、とりわけ観光閑散期における誘客を推進するためには、貸切バスの運行が重要な役割を担っていますので、今後の需要に対応できるよう関係機関と連携して取り組んでまいります。</p> <p>(5) 令和5年7月に公募型プロポーザルにより、第3次久米島町観光振興基本計画の策定業務を民間事業者へ発注しました。現在、関係団体へのヒアリングや旅行者、住民アンケートと並行し、第2次久米島町観光振興計画の振り返りを行っております。今後は策定委員会及びワーキンググループを立ち上げ検討を重ね、令和6年3月中の策定に向けて取り組んでまいります。</p> | |
| | | 3. 地域支援事業について | <p>高齢化が進む中、要支援、要介護認定の前の介護予防の一環である体操教室及びサロンの現状、その他について5点伺う。</p> <p>(1) 体操教室の一部有料化についての経緯と1回の料金及び参加人数</p> <p>(2) 各地域のサロンの現状について</p> <p>(3) 地域包括支援センターの取組み状況と課題</p> <p>(4) 要支援者の受け入れ体制は</p> <p>(5) 生活支援コーディネーターの配置は</p> | 町長 | <p>(1) 一部有料化の経緯についてですが、全国的に高齢化が進んでいる中、国が推進している地域包括ケアシステムの構築において、自らが介護予防に取り組む仕組みづくりを推進するため一部有料化を取り入れることとなりました。1回の料金は300円、参加人数は平均8名となっております。</p> <p>(2) サロンの現状については、18の字で活動しております。毎月1～2回実施しており、活動内容は主に会話を楽しむことを目的としています。</p> <p>(3) 介護の方法やサービスの利用についての相談を受けています。課題としては、人員不足となっております。高齢化が進む中、予防に繋げる対象者や介護サービスの対象者等それぞれに細やかな対応をするために人材確保に努めてまいります。</p> <p>(4) 要支援者については地域包括支援センターにて受け入れ、ケアプランの作成等を行っております。</p> <p>(5) 今年度より社会福祉士を1名配置しております。</p> | 福祉課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-------|-------------------------|--|-----|--|-----------|
| | | 4. 畜産農家の現状について | <p>和牛子牛の取引価格の下落と飼料高騰により現場の畜産農家の方々の運営が厳しい、との声があります。3点伺う。</p> <p>(1) 現状の対応等について、補助金や無利子の貸付等の事業があるか伺う</p> <p>(2) 獣医師の確保の進捗状況について</p> <p>(3) 「久米島町肉用牛子牛拠点産地協議会」の運営状況について</p> | 町長 | <p>(1) 現状の対応といたしましては、①繁殖雌牛導入事業で1頭当たり50万円上限での補助、②優良繁殖自家保留牛支援に5万円上限での補助、③共済組合の保険加入に対して35%の補助、④飼料購入支援補助を繁殖雌牛に対して補助を行っております。無利子の貸付等は町では行っておりません。</p> <p>(2) 昨年9月に町、JA、和牛改良組合の三者で沖縄県農業共済組合組合長理事に対して派遣獣医師を1名から2名への増員要請を行いました。しかし、全県的に獣医師が不足しており、増員派遣の要望に応えるのは厳しいという回答がありました。今後も引き続き、三者で共済組合に対し要望、要請を行ってまいります。</p> <p>(3) ご質問の協議会は当時、県の子牛の拠点産地の認定を受ける際に設置しましたが現在、運営は行っておりません。</p> | 産業振興課 |
| | | 5. 久米島校区の下水道事業の進捗状況について | <p>(1) いつ頃、実施できるか伺う</p> <p>(2) この事業が進まない主な原因は何か伺う</p> | 町長 | <p>(1) 実施につきましては、令和6年度予算要望委託業務に山城地区から久米島製糖工場前までの間、約1,800m（圧送管）の実施設計委託を要望しており、令和8年度より山城地区バス停から儀間・嘉手苅地区に向け布設工事の予定であります。</p> <p>(2) 事業が進まない原因については、年々沖縄振興公共投資交付金配分金額が要望額より少ないことによるものです。</p> | 上下水道課 |
| 9 | 喜久里 猛 | 1. 高速船について | <p>新会社が設立され来年4月に就航とのことだが、行政として対応はしているか。大きな課題は一般乗船客の割引きだが、メニューはあるか。</p> | 町長 | <p>令和5年7月に久米島オーシャンジェット株式会社から高速船導入についての報告を受け、沖縄総合事務局及び沖縄県と意見交換を行っております。</p> <p>一般乗船客の割引については、現在、離島住民の負担軽減を目的に沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業において離島住民及び離島出身高校生等を対象に運賃低減を実施しておりますが、一般乗船客の割引についてのメニューはございません。</p> | プロジェクト推進課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-----|-----------------|--|-----|--|-------|
| | | 2. 上水道、農業用水について | 上水道の一部は土地改良区との協定書に基づき供給しているが、そろそろ町内一円とした施策が必要ではないか。カンジンドムの有効利用等。 | 町長 | 土地改良区とは、渇水時の対策として協力負担金を支払い取水協定書を結んでおります。町内一円での取水につきましては、農業用水の水利権との関係で難しいかと思われます。また、カンジンドムの利用につきましては、取水協定池からの取水で不足等の場合に利用できないか検討して参ります。 | 上下水道課 |
| | | 3. 大原前の護岸の砂について | ホテルドーム前からの空港前の護岸は、海に向かって左は良く管理されているが右は長年、砂が溜まった状態にある。その場所の管理者の位置づけはされているか。 | 町長 | ご質問の海岸は、農林振興局海岸保全区域となっており、管理者は沖縄県農林水産部となっております。 維持管理については、11月以降に対応すると報告を受けています。 | 建設課 |
| | | 4. 台風時の高波について | 台風時の満潮、高波において、ふれあい公園前と大田船溜りの波高の差が1mあるが政治力が必要ではないか。 | 町長 | 台風等により発生する高潮対策については、字兼城から字鳥島間において一体的な対策が必要と考えております。どのような対策が可能か関係機関と調整しながら改善に向けて取り組んでまいります。 | 建設課 |
| | | 5. 今回の台風災害について | 今回の台風被害のうち、災害認定された場所の数と金額はいくらか。 | 町長 | 災害復旧事業での申請は、真謝地区の農道2件、概算事業費7千万円で、今後災害査定を受ける予定となっております。 | 建設課 |
| | | 6. キバナノヒメユリについて | 先の議会で質問したヒメユリについてはその後、何らかの対策を取ったか。 南城市教育委員会は学校の授業の一環として、土づくりから育苗まで行っている。当町は今後どうするか。 | 教育長 | 博物館で調査を進めてまいりましたが、町民からの情報により新たな自生地を確認しております。本種は沖縄県希少野生動植物保護条例に指定されていますので、今後も生息状況観察の上、県の手続を踏まえて保護の手立て等、考えていきたいと思っております。 | 博物館 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|--------|------------------|--|-----|---|-------|
| 5 | 宇江原 総清 | 1. 鳥島射爆撃場と政治について | <p>私は4点質問します。その前に近視眼的視点と多角的視点について説明する。例えば、花は美しい。この事だけで物事を見ると、近視眼的視点だ。しかし、多角的視点で捉えると花は美しいに加え、ミツバチを介して私達にハチミツを恵む。また、花は薬草であり毒を持つものもある。この事を念頭に私の質問に答えていただきたい。</p> <p>一点目は鳥島射爆撃場と政治について、今年8月8日のマスコミで麻生自民党副総裁が台湾海峡問題で「戦う覚悟は抑止力として必要」との発言があった。私は中国との戦争の背中押しとみた。</p> <p>また、7月15日に本町へオスプレイが飛来した。このことは地均した。比屋定バンタから宇江城城跡途中にかけての道路拡張工事、黒いガードレールはミサイル基地建設との連動だと私はみている。これから先、鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾射撃訓練はあると読んでいる。この観点から町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 台湾有事に備えて、町民の避難手段と特に子供たちを守るため核シェルター建設の国への要請は。</p> <p>(2) オスプレイの飛来措置の声明は。</p> <p>(3) ジョン・ミッチェルが入手したアメリカの公文書はウソなのか。ホントと思うか。</p> | 町長 | <p>(1) 町民の避難計画については、今後策定する予定です。シェルターについては、本町の地理的条件や必要性、また県内離島の動向を踏まえ検討する必要があるかと思っております。</p> <p>(2) オスプレイの飛行については、可能な限り住宅地上空の飛行を避けるとともに町民生活など地域に与える影響を最小限にとどめるよう申し入れを行っております。</p> <p>(3) 公文書につきましては、関係機関に事実関係を照会しておりますが、現時点において確認はできておりません。また、軍転協をとおして入手できるよう県へ要請も行っておりますので、引き続き公的機関から入手できるよう努めてまいります。</p> | 総務課 |
| | | 2. バーデハウスについて | <p>7月24日全員協議会で副町長が海洋深層水に触れ、大学の研究所が有望だ。その場所はバーデハウスに適切」との発言があった。その計画はあるのか伺う。</p> <p>また、県外業者の提案書に「・受託引継以降はバーデハウス運営に伴う財務リスクは〇〇(県外業者名)が引き受け。・貴町は指定管理金(直近3,230万円)の負担業務消失。・現在の(株)オーランド従業員は新規受託方である〇〇が引受。・貴町による施設改修を得て、〇〇が受託を引き継いだ以降に発生した施設の改修、メンテナンスは全て〇〇が引き受け。」とある。これも出来上がった話ではないか伺う。</p> | 町長 | <p>大学等の研究機関からバーデハウス周辺を、海洋深層水関連の研究拠点施設として活用できないか提案を受けています。現在、大学側が国と拠点整備の実現可能性についてヒアリングを受けているところです。</p> <p>また、バーデハウス再生に関しては、過去にも答弁した通り、一民間企業からの提案という形で町に示されていますが、過去から現在に至るまで実効性をもって当該計画が執行されたものではなく、町としても当該提案を承認したものではありません。</p> | 商工観光課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|------|-------------------|---|------------|--|--------------------------|
| | | 3. 銭田川と自然再生について | 町長は銭田川的美栄橋（マガイバシ）から山中橋までの河川を排水路とし、県と共同して三面コンクリートにした。三面コンクリートは豊穡な海も海藻やサンゴを衰退させた。モズクをはじめ、魚介類までダメにしている。オーストラリアではグレートバリアリーフのサンゴを守るため、山からのミネラルを含む豊かな水、川に植栽し豊かなサンゴの海にしている。襟裳岬でも海岸森林を伐採し、壊滅した昆布を森林植栽と川造りで昆布を蘇らせた事例がある。自然再生推進法は議員立法である。その重みを受けて、町は自然再生の実現を図るべきと思うが伺う。 | 町長 | 自然環境を取り戻すことを目的とした自然再生推進法は、自然資源の持続的な利用と後世への継承を図るうえでは重要と考えますが、用地確保が困難な場合や事業目的の早期達成を図るためには、自然工法を採用できない部分も出てきます。可能な限り自然工法による施設整備に努めてまいります。 | 建設課 |
| | | 4. 真泊の避難道路と観光について | 真泊の避難道路について、真泊公民館で町による説明会が行われた。説明会をしていながら、避難道路の案内標識を撤去すると乱暴な答弁をしている。町長は説明会が難産であったことを知っているか伺う。 私は当時、説明会に参加し、賛否・意見の取りまとめに尽力した。このように真泊の避難道路は、紆余曲折を経ながら、地域住民の生命・財産を守るため整備された。町長はそれでも大津波の際に多くの犠牲者が予想される宇根、赤平ルートを設定するのか。また、避難道路標識を撤去するのか伺う。 | 町長 | 当該地区が土砂災害特別計画区域に指定されていることから赤平頂上付近へ避難するルートが望ましいと考えております。案内図については、土砂災害特別警戒区域に指定されていることから撤去する方針です。 | 総務課 |
| 3 | 富永 肇 | 1. スポーツ振興について | (1) スポーツ振興は町民の健康増進、地域間交流、プロスポーツキャンプでは経済的効果等、多角的に波及していくものと考えております。本町にはスポーツコンベンション、スポーツ推進員が配置されていますが活動状況や活動内容が見えておりません。現状、スポーツ振興に寄与するための活動内容を伺います。 (2) 各種大会やキャンプの誘致は施設の充実が一番の要件だと考えます。B G 体育館、久米島、仲里両球場、ホテルドーム等、各スポーツ施設の老朽化が著しいと感じます。久米島公共施設管理計画上での各種スポーツ施設の改修、更新時期について今後どのような計画となっているか伺います。 | 町長・ 教育長 | (1) 町スポーツコンベンション協議会は、各種スポーツ合宿及び大会誘致活動及び受け入れ態勢の充実を図り地域活性化に資することを目的に設立されました。現在は主にプロ野球キャンプ、パークゴルフ大会、各種野球大会などの受入れを中心に活動しています。また、スポーツ推進員は、町民のスポーツ振興の職務を担っています。活動実績としては、学校や各団体等の求めに応じたスポーツの実技指導。小体連・中体連、町主催等のスポーツに関する行事やイベントへの協力等があります。 (2) スポーツ施設の改修、更新につきまして、は具体的な年次計画等は策定されておりません。各種大会やスポーツキャンプ誘致の | (1)教育課・商工観光課 (2)環境保全課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-----|-------------|--|-----|---|-----|
| | | | | | みならず町民の健康増進において、施設の充実には欠かせない要件となりますので、全庁的な協議を行ったうえで、各施設の更新、集約化、長寿命化などの計画策定に向けて取り組んでまいります。 | |
| | | 2. 学校教育について | <p>(1) 本町は教育理念である「知」「徳」「体」の調和のとれた教育に取り組んでいます。毎年、数値化し検証が行われていると認識しています。長引くコロナ禍において知、徳、体のバランスの崩れはないか。目標数値の達成到達度や学力学習状況調査にて、全国や県と比較した現状を伺います。</p> <p>(2) 本町の中学校は平成16年より久米島高校と連携型中高一貫教育校となりました。継続的な指導体制の取り組みを行うため各種委員会を設置していますが、これまでの活動を踏まえた効果、PDCA等を通して検証を行っているか伺います。</p> <p>(3) 本町の給食費は現在、コロナ臨時交付金を活用し無償ですが、今後の給食費の無償化についての（保、幼、小、中）見解を伺います。</p> | 教育長 | <p>(1) 「知」として検証している、令和5年度全国学力学習状況調査結果は、小学校における全国との差はマイナス2.9、中学校における全国との差はマイナス5.8となっています。</p> <p>「徳」として検証している、児童生徒質問紙における自己肯定感に関連する項目について、令和5年度は前年度と比較し、全体的に小学校中学校ともに数値が上昇した結果となっています。</p> <p>「体」として検証している、令和4年度全国体力運動能力、運動習慣調査結果は、小学校は男女とも前年度同様に全国平均を上回っていますが、中学校は男女とも全国平均を下回る結果となっています。</p> <p>コロナ禍においては、「知」「徳」「体」とも数値や達成度が低い傾向にありましたが、令和5年度については、数値が良くなっている傾向にあります。</p> <p>(2) 中高一貫教育では、中学校と高等学校が教育課程の編成や教員、生徒間交流会等の連携を深めるかたちで実施しています。組織図としては、「校長会」「全体会」のもと「教科会」等5つの部会があり、当該年度の活動について、成果と課題を検証し、引継ぎ事項報告書をまとめ次年度に引き継いでいます。</p> <p>(3) 今年度給食費については、4月から9月分までコロナ臨時交付金を活用し無償化が決定しております。10月から3月分につきましても、9月議会においてコロナ臨時交付金の変更申請により無償化とする予定です。次年度以降の無償化については、現在未定となっています。</p> | 教育課 |

| 席番 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 |
|----|-------|---|--|---------|--|-----|
| | | 3. 学校の適正規模、適正配置について | 7月、教育委員会より学校の適正規模、適正配置の現状と今後の児童生徒数の状況の説明を受けました。将来を担う子供たちの学びの保証や学習環境を踏まえ、学校再編、統廃合に向け、取り組みを行う時期だと考えます。町長、教育長の見解を伺います。 | 教育 長 | 学校の小規模化が進むことで教育上どのような課題があるかについて、子どもたちの学習保障の観点から現状及び分析を行いました。その調査研究結果を関係者及び町民への説明を行い、ご意見をお伺いし今後の方針策定に取り組んでいく予定です。 | 教育課 |
| 8 | 棚原 哲也 | 1. 謝名堂マイ原地区の整備について | 当地区の農地については農道と畑地の高低差が大きく収穫期、作物の更新時期に使用する農機具の導入箇所は確保されているものの、経年劣化による破損や幅員の狭さが機器の大型化に対応できない状況にある。また、当地区はウーリ池及び周辺からの水量が多く排水路が順調に機能しておらず、晴天下においても常時湿って良好な農地とはいえない状況であり、耕作放棄された農地が多く見受けられる。 (1) 農業用機械の出入場所の改善 (2) 排水路の改善等、農家からの切実な声がある。早急な対応が必要であると思うがどう考えるか伺う。 | 町長 | 謝名堂マイ原地区につきましては、排水機能が悪いことから、補助事業での整備要望を行っております。機械化対応についても必要ですので、補助事業で対応できるよう検討してまいります。 | 建設課 |
| | | 2. 道路標識の設置及び停止線の標示について | 交通量の多い県道イーフ線と接続される町道比嘉2号線、比嘉6号線及び農道真我里一号線、町道真我里一号線と交差する主要箇所に交通安全のための標識及び停止線の標示が必要である。整備する計画があるか伺う。 | 町長 | 那覇署から交通規制の見直しにより当該区間の一時停止標識を撤去し、法定外標示の整備検討の依頼がありました。優先道路を明確にする法定外標示を整備し、安全確保に努めてまいります。 | 建設課 |
| | | 3. イーフビーチ南側の海岸に設置されている三階建ての構築物の取り扱いについて | 当該構築物は、塩害や経年劣化によりドアや手すり等が破損し、自由に何人も出入りできる状況にある。事故が起きる前に対応する必要がある。どう取り組むか対応策を伺う。 | 町長 | 当該施設は、民間事業者の所有となっており、管理状況について適正管理するよう申し入れております。 | 総務課 |